

Basudev prasad joshi memorial foundation
Pin Nepal

ネパールからの報告 (2020.7.28)

PIN Nepalのアニタさんからの報告とQ&A

- ・ネパールでも日本と同じように、体温が37.5℃以上になるとPCR検査を受け、陽性と判定されると、14日間学校やホテルなどの簡易（臨時）隔離場所に隔離される
→急に学校などを使うようになったため、清潔さやスペース上の問題で批判が出ている
- ・インドやその他の国から出稼ぎに行っていた人々が帰国しても、14日間ホテルなどの簡易（臨時）隔離場所に隔離される
その費用は自己負担になってホテルの場合だと負担が大きくなるという話がある
- ・そこで、地元の人たちが支援をして簡易（臨時）隔離場所を作って、自分の村に戻った人たちに居てもらうところもある
たとえば、シンドウパルチョークでも簡易（臨時）隔離場所があり、タオルやベッドシート、石けんなどを購入する費用を支援している
- ・新型コロナの感染が確認されると、まず簡易（臨時）隔離場所に入り、薬などで治療を受ける。
→発症したり熱が下がらないと、病院（ICUも含む）に隔離される
- ・7月24日（金）時点のデータ
感染確認者：18,483（PCR検査数：339,157：陽性率5.4%）
年代別では、21～30歳の約38%をピークにその前後の11～40歳で全体の約80%
女性が少ないが、性別のデータは公表されていない
発症者 ： 5,385
死者 ： 45

以下、Q&A

(Q1) PCR検査は誰でも受けられるのですか？

(A1) PCR検査は、誰でも受けられません。

自分がリクエストすれば、お金も自分で払わなければいけない。

今のところ、私立病院でのPCR検査のお金はRs5,500（※）くらい

※最近は、円高で1ネパールルピーは0.88円なので、約4,870円

(Q2) PCR検査の費用はだれが出すのですか？

国が出しますか？

(A2) PCR検査の費用は 国が払っていません。

でも、もし誰かの家で部屋を借りて住んでいる人が陽性になれば、国の事務所の人たちが行ってその家に住んでいる人たちみんなの検体を取って行くので、PCR検査の費用は国が持つではないかと思います。

(Q3) 簡易（臨時）隔離場所での治療（薬代も含む）の費用はだれが出すのですか？

(A3) 簡易（臨時）隔離場所にいるときの食べ物、薬などは外国から戻る人たちは自分で払ってくださいと言われていました。

でも、地方へ行って戻る人たちは発症する可能性が高いので、ボランティアグループが学校や公共の施設などがあれば、人が泊まれるようにしてご飯も出しているところもいくつかありました。（※）

※「新型コロナ共生プロジェクト」でも一部支援しています

これまでの「活動速報」や「活動のまとめ」などもご参照ください
外国から戻る人たちは、お金があると思われて、ホテルを用意して14日間の高いお金払ってくださいと国が言ったので結構批判がありました。
外国から戻りたい人たちは以前の倍の費用を払って飛行機をチャーターして戻れるようにしました。

それで用意された簡易（臨時）隔離場所で泊まって貰って検査をしてから自分の家に帰ります。

(Q4) 貧しい人たちが検査や治療を受けられなかったりすることはありますか？

(A4) 貧しい人たちはまず どこかへ行くとき発熱があればすぐにPCR検査へ行かせるので、そのときは国が検査をすることになっています。
そのことがあるので、毎日検査の結果としてデータを出しています。